

# 競技上・審判上の注意事項

## 1、競技上の注意

- ① 本大会は2024年度の公益財団法人「日本バドミントン協会」の定める競技規則及び大会運営規定、並びに公認審判員規定に基づいて競技を運営する。
- ② 試合はタイムテーブル2列目までは指定コート。3列目以降は流し込み方式で実施する。コールされてから5分以内にコートに入らない場合は「失格」とする場合がある。
- ③ 男子2部、男子3部は予選リーグ戦を行い、決勝は3リーグの1位同士で決勝リーグ戦を行う。女子2部は2リーグの1位同士で決勝戦、2位同士で3位決定戦を行う。
- ④ トスの後、試合を開始する前に、3分間以内の練習を認める。（但し初戦のみ）
- ⑤ プレイヤーが連続して試合をする場合、原則として10分間程度の空き時間を入れる。
- ⑥ 競技中の事故（ケガ）については、応急処置の手配は行うが、以後の責任は負わない。

## 2、審判上の注意

- ① 全ての試合は21点3ゲームマッチで行い、20点オールになった場合、最大30点まで延長ゲームを行う。尚、試合の進行状況により、大会本部の判断で点数の変更をすることがある。
- ② 先行するサイドが11点になった時60秒以内、ゲーム間に120秒以内のインターバルを認める。
- ③ サービスの際、シャトル全体が床面から115cm以下でなければならない。
- ④ 審判員は、敗者が次の試合の主審と線審を、勝者がもう一人の線審を担当する。タイムテーブル1列目の試合の審判は、タイムテーブルの2列目の指定選手が担当する。主審は審判用紙に、勝者サイン・主審サイン・試合終了時刻を記入し、本部席に持参しチェックを受ける。
- ⑤ アドバイスはインターバル時のみとする。但しコートに入れるのは2名までとする。
- ⑥ 着衣は原則として公益財団法人「日本バドミントン協会」公認のゲームウェアを着用する。
- ⑦ 試合中のシャトル交換は、主審が必要かどうかを決める。

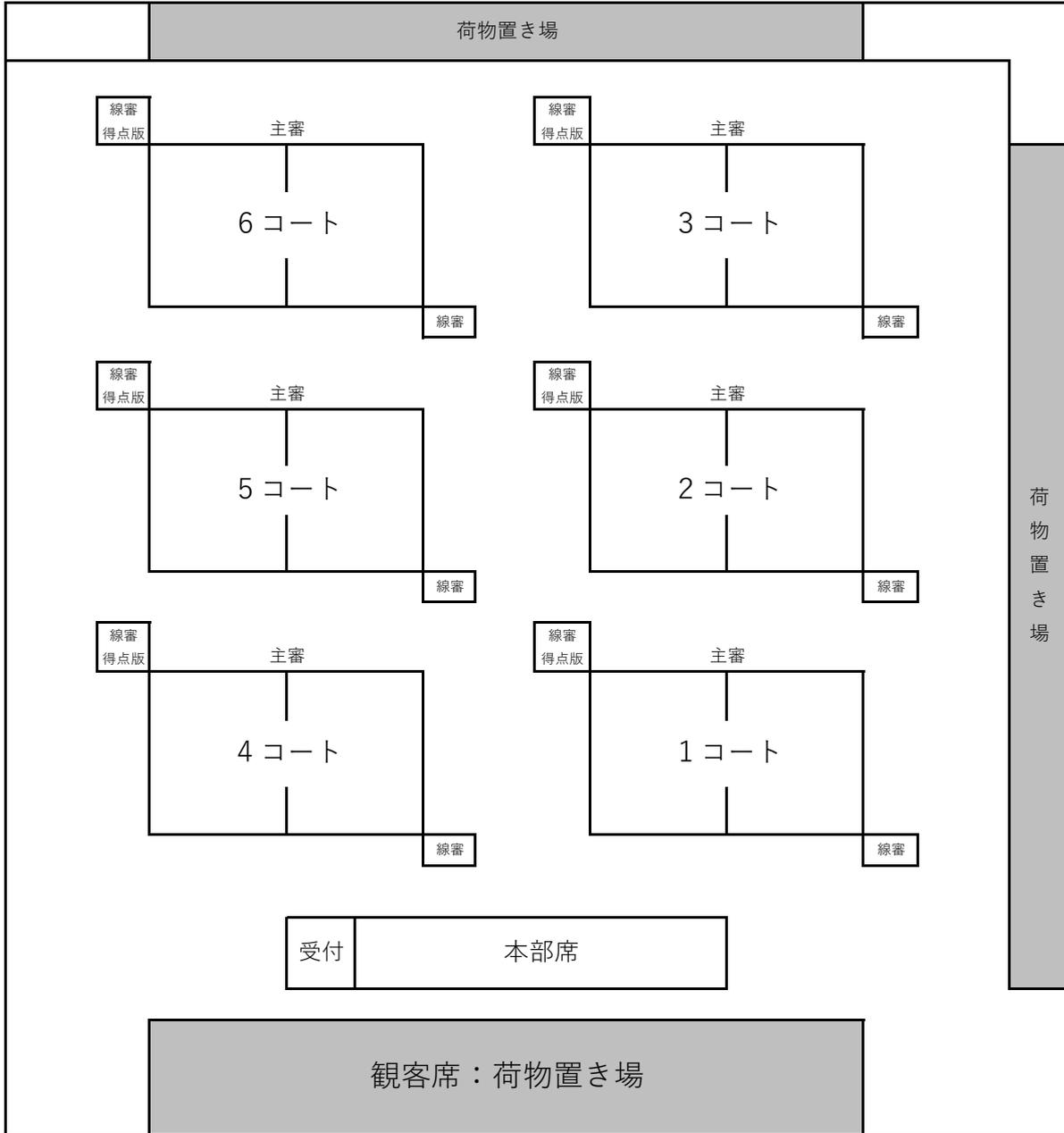
## 3、体育館使用上の注意

- ① 大会関係者、出場選手、応援者含めて駐車場の利用は出来ません。
- ② 下駄箱は応援の方も含めて使用出来ません。靴袋等で各自保管する事。外履き・室内履きの区別を必ず行う事。
- ③ 会場内での個人的な写真撮影・ビデオ録画は出来ません。
- ④ アリーナ内の飲食は禁止です。アリーナ内ではカップの出来る飲料のみ可とします。昼食は2階の会議室で行う。
- ⑤ 体育館施設は敷地内全館禁煙です。
- ⑥ ゴミは各自必ず持ち帰る事。
- ⑦ 身の回り品の管理には各自十分注意する事。万一事故があった場合、責任は負いかねます。
- ⑧ 大会結果等の記録写真はホームページに掲載公開されることがあります。

## 4、その他の注意

- ① マスクの着用は任意とします。
- ② 閉会式は行いません。入賞者は準備が出来次第表彰します。

# 4月21日 ダブルス大会 会場レイアウト



出場者数：女子2部6組・3部5組 男子1部4組・2部9組・3部10組 合計34組68名

本部当番：備品事前申請&当日受付=ブルースター プログラムコピー=SQクラブ PC担当=田無連合

本部 15名	和田副会長・遠藤理事長
	司会進行：佐藤幸一 競技審判注意点：布施 審判長：菊池・佐藤政行
	大会進行（記録・放送・シャトル補充）：ブルースター+SQクラブで3~4名
	PC登録：田無連合
受付：ブルースター 会計：山本・力丸 総務：小倉	

大会 役員	顧問	野村 美智子									
	大会会長	楯 篤志									
	副会長	和田 法夫									
	委員長	遠藤 誠司									
	副委員長	布施 真一郎	浅川 嘉之								
	会計	山本 ふみ代	力丸 英子								
	総務部	小倉 トシ子	武藤 明美	佐藤 由紀代	野沢 和子	三澤 吾郎					
	競技部	福島 美記子	菊池 敏朗	佐藤 政行	宗形 一志	加藤 淳一	佐藤 幸一				